

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17:30～ 20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	0	0	10 (分からない 1名)

前回の改善計画	
・サービス開始時は特に本人や家族とカンファレンスやアセスメントを十分に行い、本人や家族の思いを共感できるよう努める。 ・PC・ホワイトボード・ノートの用途方法をしっかり理解し確実に守っていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・相談された時はすぐにサービスを希望されることが多いため、十分なアセスメントがとれずにサービスに入ってしまうことがあった。 ・得た情報はPC・ホワイトボード・ノートに落とし、職員全員がいつでも確認できるようにした。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	1	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	6	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人が慣れるまで決められた職員が訪問し対応にあたっている。問題なければ他の職員が少しずつ関わりを持ちながら本人が戸惑わないように努めている。 ・朝の申し送りや職員会議、PC、ノートなどで、情報が入るごとに報告し職員間で共有できている。 ・契約前に必ず体験利用を勧め、本人や家族が安心して利用できるよう支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・共有はできているが、一部口頭になり伝え忘れてしまうこともある。 ・特にはじめは家族の要望を重視してしまいがちで、本人の気持ちが二の次になってしまうことがある。 ・計画書を作成した上で、どのような支援をしていくのかを全職員に説明ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・口頭での伝達はできるだけしない。する場合でも必ず記録に残す。 ・日々の関わりの中で得た情報は、見落とさずに必ずPCに落とし、全職員が共有できるようにする。 ・支援計画を基に職員全員で内容を共有後、サービスを実施する。変更があった場合も計画書とその都度変更していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17:30～ 20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野・

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	1	0	10 (分らない1名)

前回の改善計画

- ・毎月一回の職員会議ではサービス担当者会議を中心に話し合う。職員全員で意見を出し合い本人の支援方法を決めていく。
- ・要望なのかつぶやきなのかをしっかりと判別していく。本当の心をつぶやきを聞き出せるようなコミュニケーションの力を身につけていく。担当者だけでなく職員ひとり一人が常にこの人は何がしたいのか?どんな生活を望んでいるのかなど、日頃の会話の中で聞きだし記録にあげ計画書にのせみんなで実施していく

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員全員での会議を実施することが難しく、限られた職員だけで支援方法を決めていくことがある。
- ・毎日の申し送り等で意見は出し合い、どう支援していったらよいかを話し合っている。
- ・特に一人暮らしの人は生活を支えていくのが精一杯で、その人が望んでいることへの支援はまだできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	3	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	2	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	1	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	2	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の興味を持つこと、本人ができることを提案し状態の維持を図っている。作った作品などは施設に展示したり、地域の文化祭に展示してもらったりしている。
- ・12 月に開かれるふれあいフェスティバルに利用者の作品を展示し、地域の人達に見てもらうことで意欲向上に繋がっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の目標をしっかりと理解できている職員と理解できていない職員がいる。
- ・支援方法が職員全員の意見によって作成できていない。
- ・状態が軽い人に対しては状態を維持することが目標になり、目標が明確になっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・利用者全員の目標を一覧表にし、いつでも確認ができるようにする。
- ・生きる意欲に繋がるような計画書を作成するために、日々の関わりの中でアセスメントをしっかり行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17:30～ 20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	2	1	10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">話し合いで得た情報は早めに 24 時間シートにおとし、常に新しい情報シートになっているようにする。言語化できない利用者に対しては、特に話し合いの場を多く持ち、情報収集し職員間で情報共有に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">情報は PC に入力できているが、速やかに 24 時間シートにおとしおらず定期的に更新ができていない。言語化できない利用者に対しての話し合いの時間が少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	5	5	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	5	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">体調・環境の変化を逃さず、スタッフ間で共有し、早めの対応ができています。状態に応じ食事の内容や形態を変更している。入浴、排せつについても職員間で話し合い工夫している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">以前の暮らし方については、本人から聞けることもあるが、認知症の人の場合は情報収集することが難しい。意思を伝えられない利用者の声に対して、話し合っているが言語化はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">特に言葉を発せない人や意思を伝えるのが苦手な人に対しては意識して関わりを持ち、何を思っているのかを感じとっていく。送迎時など家族から情報を聞き 24 時間シートにおとししていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17:30～ 20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	2	4	0	10 (分からない 2名)

前回の改善計画

- ・サポートマップの見直しや追加を定期的に行なっていく。
- ・本人に関き取りするだけでは情報が乏しく、家族からのアセスメントも随時行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・定期的にサポートマップの見直しや追加が行われていない。
- ・担当者のみが行っており、職員全員での取り組みができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	1	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	1	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	1	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	7	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人に関わっている人に対して、事業所としても関わりを持つよう努めている。何かあった時には連絡を入れ支援をお願いしている。
- ・一人暮らしの人に関しては、地域資源の把握も出来ており活用もできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者によって情報の量に差がある。認知症の人だと情報収集することが難しい。
- ・地域資源の把握ができていない職員がいる。
- ・一人暮らしの人は地域との関わりが多いが、家族と同居している人は地域との関わりが少ないため、地域資源マップへの書き込みも少ない。
- ・家族からのアセスメントが少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・地域のサポートマップを充実させる (聞き取りをしっかりと行い出来るだけ多く情報を収集する)
- ・本人を支援してもらえ地域資源をより多く見つける。
- ・家族の理解を得るために家族とゆっくり話し合える時間を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17 : 30～ 20 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	0	0	10 (分から ない2名)

前回の改善計画	・小規模多機能の役割やあり方など積極的に研修に参加し学んで行く。その中であわら聖徳園らしさを出し地域に必要とされる事業所を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・小規模多機能連絡協議会に積極的に参加し情報収集や意見交換している。研修にも可能な限り参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	1	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	8	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	7	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自分達だけで支えようとせず、地域の資源を活用しようと努めている。 ・問題が起きた場合、自分達だけで解決しようとせず、他の機関や包括に相談しながら進めている。 ・家族や本人の状態に合わせてサービスを変更している。急な要望にもできるだけ対応できるよう努めている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・どちらかという本人より家族の要望を重視してしまうことが多い。 ・休みで申し送りや会議などに参加できなかった職員に対して、情報を確実に伝達出来ていないことがある。 ・実施しているサービスが本当に適切なのか見直しできていない。 ・問題が起きるとすぐに自分達で対応してしまう傾向がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・問題が起きた場合、まずどのような資源があるのか? 地域資源でできないことを事業所で支援していく。 ・サービスの内容を定期的に見直していく。過剰なサービスをなくし、本当に必要なサービスを提供していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17:30～ 20:00)

6. 連携・協働

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	0	0	10 (分らない 2名)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に地域住民との交流ができるような関係を築く。行事やイベントなどの参加を呼びかけたり、独居宅の訪問など事業所としてできることを継続的に行なっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の行事やイベントなどに地域住民の人が参加する機会は増えているが、日常的な交流はまだできていない。 ・月 1 回独居宅への訪問も継続できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	7	0	0	10 (分らない 3名)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	6	0	0	10 (分らない 2名)
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	7	1	0	10 (分らない 1名)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	5	2	1	10 (分らない 2名)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて他機関と会議を行うことはできている。研修にも積極的に参加できている。 ・可能な限り地域のイベントや活動にも参加している。 ・月一回のいきいきサロンの実施、独居宅への訪問も継続できている。 ・利用者や関係者以外の地域の方が台風の時に避難に来られ、それに対して対応することができた。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が事業所を訪問する機会は少ない。 ・近所でも事業所があること自体知らない人もいる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も独居宅や高齢者だけで暮らしている家への訪問や、いきいきサロンなど事業所としてできることを継続していく。 ・地域の行事に積極的に参加し、事業所をアピールしていく。 ・気軽に事業所に訪問してもらえるよう地域住民の人と日頃から関わりを持っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17:30～ 20:00)

7. 運営

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	0	0	10 (分からない2名)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談ができる事業所になれるよう日頃から地域の住民との関係づくりに努める。 ・いきいきサロンや独居宅への訪問、イベントの参加など積極的に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回いきいきサロンの実施や独居宅への訪問はできている。何かあった場合は包括や民生委員へ情報を提供している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	9	1	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	1	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	1	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	8	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情は必ず上司に報告し、適切な処理ができている。 ・職員からの意見は、施設長に報告し、運営に反映できている。 ・日頃からコミュニケーションがとれており、意見の言いやすい環境である。 ・運営推進会議で行政の方や地域の方に報告し、意見をいただいている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働した取り組みをすることは増えているがまだまだ少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所からの一方通行ではなく、地域の方の協力も得られるような関係性を築く。 ・日頃から積極的に地域の方との交流を持っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17:30～ 20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	3	0	0	10 (分からない 4名)

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修は、全員参加で行うことが難しいため、少人数で数回に分けて実施するなど工夫し、確実に研修を行なっていく。 ・来年度も外部研修には積極的に参加をし、意欲向上やスキルアップに繋げていく。 ・ヒヤリハットの意味やとらえ方を始め、どうしたら出しやすいのかなど職員間で話し合いを行い、職員の意識を変えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修は他事業所と合同研修にしたり、高齢者のみの研修にしたりと工夫して取り組んだが、時間が決められてしまうため、参加できる職員に限られてしまった。外部研修は積極的に参加ができた。パート職員も勤務時間の変更をしながら参加することができた。 ・ヒヤリハットに対して意識が変わり、積極的に出すことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	6	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	6	0	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	3	5	0	0	10 (分からない 2名)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	5	0	0	10 (分からない 1名)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットは積極的に提出し情報は共有できている。 ・県の事業の訪問指導（研修）は毎年利用し、事業所にとって必要な研修を依頼し参加できている。 ・勤務時間の変更などを行い、全職員均等に外部研修に参加できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・同じようなヒヤリハットが何度も出てくることがあり、改善されていないこともある。 ・ヒヤリハットが出てから全員が把握するまでの時間が掛かり過ぎている。 ・外部研修に参加後は報告書を提出するだけで、他の職員に伝達講習が行われていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットが出た時点で、すぐに職員間で共有し改善策を検討する。決まったことは持続していく。 ・外部研修に参加後は他の職員に伝達講習を行い、事業所全体のスキルアップを目指す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 14 日 (17:30～ 20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中島・為口・菅原・佐々木・森・中木・西田
室・中島く・平野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	4	3	0	10 (分からない3名)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・席を離れる時は利用者の目に触れないよう書類を片づける。 ・利用者の前では利用者に関係のない個人的な話は絶対にしない。 ・特に排泄時の声掛けには注意する。排泄チェック表に記入することを忘れない。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・書類等は利用者の目に触れないようにしているが、たまに出しっぱなしの時がある。 ・利用者の前で職員同士の個人的な話をしていることがたまにある。 ・排泄に関して意識はしているが、時々確認の声が職員間で飛び交っていることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	7	0	0	10
②	虐待は行われていない	7	3	0	0	10
③	プライバシーが守られている	1	9	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	3	1	1	10 (分からない2名)
⑤	適正な個人情報管理ができています	4	6	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・拘束や虐待に関しては職員全員意識できている。研修で再確認している。 ・現在、成年後見人制度を利用している利用者はいないが、社会福祉協議会のしあわせねっとサービスを利用している利用者は数名いる。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関しては利用者に分からないように配慮しているが、たまに職員間での確認の声が飛び交うことがある。 ・成年後見制度の利用に関しては、ハードルが高く利用することは難しい。 ・利用者との会話の中でプライバシーに関する話題を他の利用者がある所でしてしまうことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・今以上にプライバシーへの配慮をしていく。 ・居室でオムツ交換する人に対しては排泄チェックを居室で行うようにする。 ・個人情報に関しては情報が外部に漏れないよう研修を重ねながら再確認していく。 	